

HB通信

編集・発行 /
一般社団法人
ひょうご部落解放・人権研究所



〒 650-0003 神戸市中央区山本通 4-22-25 兵庫人権会館 2 階
TEL : 078-252-8280 FAX : 078-252-8281
e-mail : blrhgy@extra.ocn.ne.jp URL : <http://blrhgy.org/>

 **則定所長の
ナニ？なに？何？
「何手先まで読んでいるのか？」**

ある市の人権教育リーダー研修会に参加した。きっかけは、元同僚から「あなたは人権啓発の教材を作っているが、それがどのように活用されているか、現場を見たことがあるのか？」という問いかけを、1 年ほど前にいただいたことにある。私は、作った教材が実際にどのように学習会の場で活用されている

のかを見ていなかった。それは、その取組の目的達成度を把握していないに等しい。そういう経緯でリーダー研修の現場を訪ねた。

会場である公民館のホールは、満杯で熱気に溢れていた。司会役を務めた指導主事は、丁寧に研修会の趣旨を説明し進行していく。ブロック会長と市の人権教育推進課長の挨拶もその熱気に後押しされるかのように力のこもった内容となり、それに会場は万雷の拍手で応えた。そして講師役の副主幹が登場した。今年のテーマは「こどもの人権」である。特に、県制作の人権啓発映画「あなたのいる庭」を教材として、今年 1 年は本日出席されているリーダーがメインとなって住民懇話会を主催していくことが説明され、手引きも合わせて配られた。そして、映画に登場する用語や映画を観た後に行うグループ討議の視点について解説を聴いた上で映画を鑑賞した。

その後、私を含め 5 人でグループ討議を行った。討議では、「こどもの数が減っている中、こどもが集まる場がない。管理の問題もあると思うが、放課後、学校を遊べる場にできないのか」とか、「子供会への加入率が減っており、加入していても行事への参加者が少ない」

とか、「こどもがいない自治会があり、大人だけでとんど（小正月のお焚き上げ）などの行事を行っても張り合いがない」など、地域の課題が切々と語られた。こうしたプロセスを経ることによって、課題が共有され、解消に向けた参加者の理解と認識は徐々に深まってゆくのである。

「あなたは何手先まで読んでいるのか？」
——この視点は、常に忘れてはならない。

今号のもくじ

- ▶ 1 面 … 則定所長のナニ？なに？何？
- ▶ 2 面 … 2025 年度人権教育実践講座、ひょうご人権総合講座のご案内
- ▶ 3 面 … 本の紹介『検証 治安維持法』『証言 治安維持法』
- ▶ 4 面 … 人権啓発研究第 45 回兵庫県集会のご案内 / 事務局から plus

所長 則定 広人

2025 年度 人権教育実践講座のご案内

パンフレット
はこちら→



2025 年度は兵庫県教育委員会の方を講師にお招きし、ワークショップを開催します。そのほかの講座についても、より多くの先生方の実践に生かせるような内容となっています。

■日程：2025 年 8 月 6 日(水)、7 日(火)、19 日(火)、11 月 15 日(土)

■参加資料代：単体申込：1 コマ 2,200 円

(いずれも税込) 全講座申込：全 10 コマ 22,000 円→ **19,800 円** ※2,200 円お得になります！

■会場：兵庫県立のじぎく会館 ※フィールドワークは現地集合です。

■申込方法 (WEB 申込み)

【口座振込みをご利用の場合】

①申込：右記 QR コードから Google フォームへアクセス、必要事項を入力して下さい。

②支払：参加資料代を指定口座へお支払いください。

【オンライン決済をご利用の場合】 **申込と支払いが同時に完了！**

右記 QR コードからアクセスすると、『全講座申込』『単体申込 (4,400 円)』『単体申込 (2,200 円)』の 3 種類のリンクが表示されます。いずれかを選択し、オンラインショップにて申込と支払を完了させてください。

■申込締切：2025 年 7 月 31 日(木) ※定員に空きがあれば締切以降も受け付けます。

■主催：人権教育実践講座実行委員会

■後援：兵庫県教育委員会

※くわしくはパンフレットでご確認ください。

2025 年度 ひょうご人権総合講座のご案内

パンフレット
はこちら→



2025 年度もさまざまな人権課題について学習いただけます。阪神・淡路大震災から 30 年の今年は、災害関連の講座もご用意いたしました。ふるってご参加ください。

■日程：2025 年 8 月 28 日(木)～12 月 18 日(木) 全 13 日・26 講座

■参加資料代：単体申込：1 講座 4,000 円

(いずれも税込) 全講座申込：全 26 講座 104,000 円→ **98,000 円** ※6,000 円お得になります！

■会場：兵庫県立のじぎく会館 ※フィールドワークは現地集合です。

■申込方法：【WEB 申込】右記 QR コードから Google フォームへアクセスし、必要事項を入力してください。

【FAX 申込】研究所 HP から受講申込書をダウンロードしてお送りください。

■申込締切：2025 年 7 月 31 日(木) ※定員に空きがあれば締切以降も受け付けます。

※くわしくはパンフレットでご確認ください。



『検証 治安維持法—なぜ「法の暴力」が蔓延したのか』

荻野富士夫著、平凡社新書、2024 年 12 月、1,800 円(税別)

『証言 治安維持法—「検挙者 10 万人の記録」が明かす真実』

NHK「ETV 特集」取材班著、荻野富士夫監修、NHK 出版新書、2019 年 11 月、900 円(税別)

今年は、1925 年に治安維持法が成立・施行されて 100 年目に当たる。「希代の悪法」と呼ばれる同法は当初、「国体の変革」や「私有財産制度の否認」を目的とする結社を取り締まるものとして、無政府主義・共産主義を標的としていたが、その後、学問や言論、宗教、文化などにもその対象を広げ、戦時下での思想統制の武器として猛威を振るった。敗戦後に廃止されるまでの 20 年間で、国内での拘束者は数十万人、検挙者は 6 万 8274 人、拷問による虐殺、獄死など、弾圧が原因で命を落とした人は確認されるだけで 500 余人と言われる。



『検証 治安維持法』の著者、荻野は、近現代史を専門とする治安維持法研究の第一人者である。本書は「治安維持法の歴史」シリーズ全 6 巻（六花出版、2021～2023 年）を基調としており、新書としてはかなりの分量（500 頁）だが、この 1 冊で概要は掴めると思う。

荻野は「悪法は法にあらず」と訴える。そして、具体的、多角的な視点からその「悪法」性を明らかにしようとする。また、「新たな戦前」に直面していると言われる今日、治安維持法違反で検挙された経験のある弁護士・能勢克男の「（治安維持法が）どうして、どんなにして、つくられたか。どんなに法律としての力をふるって、人民を苦しめたか。——そのいわれいんねんの、いちぶしじゅうを（中略）私たち人民が知りぬき、考えぬいていないということは、危険きわまることだ」という言葉を引きながら、「いちぶしじゅう」を知り抜くことの重要性を強調する。

1 章は成立から崩壊までを概観し、1928 年（死刑追加、目的遂行罪導入）、1941 年（刑罰規定の厳重化、予防拘禁制追加）の「改正」などを経て、対象や運用が拡大していく流れを明らかにする。2 章では、特高警察・思想検察・裁判、行刑・保護観察・予防拘禁の各段階での運用、違法捜査・拷問や詐術を用いた取り調べなどが具体的な事件とともに検証される。3 章「戦時下抵抗と治安維持法の「法の暴力」」では、神戸詩人クラブ事件、横浜事件など、1930 年代後半以降の具体的な事件を取り上げる。4～6 章では植民地朝鮮、台湾、「満州国」での運用を論じ、「悪法性の本質」に迫る。同法が廃止されたのは、敗戦から 2 カ月後の 1945 年 10 月 15 日。治安維持法体制を存続させている日本政府に業を煮やした GHQ が 10 月 4 日に発した「政治的、公的及宗教的自由に対する制限除去の件」（人権指令）を受けてのことだ。終章では、治安機構・人における戦前から戦後への連続継承についても触れられている。なお政府は、今日に至るまで調査も補償もしないままである。



『証言 治安維持法』は、2018 年 8 月に NHK の E テレで放送された ETV 特集「自由はこうして奪われた～治安維持法 10 万人の記録～」を書籍化したもの。普通に暮らす普通の人々が次々に検挙されたのはなぜか。具体的な出来事が、当事者や遺族の証言を通して描かれ、時代背景や法律の運用状況が専門家の見解を交えて検証される。終章には、証言者たちが戦後どう生きたのかも書かれている。人を通して描かれているので、より読みやすいと思う。

最後に、この 2 冊をベースに作られた YouTube 番組「NoHateTV」

vol.331「治安維持法から 100 年」（2025 年 7 月 24 日配信、<https://www.youtube.com/watch?v=WQH8sqpULFc>）も紹介したい。わかりやすく、とっかかりとしてお勧めだ。（H）



人権啓発研究第 45 回兵庫県集会のご案内

昨年は部落解放研究全国集会のためお休みしましたが、2 年ぶりに人権啓発研究集会を開催いたします。今回は記念講演と分科会・学習会の 1 日集会です。お申込みは下記 QR コードから可能です。たくさんの方々のご参加をお待ちしています。

■日時：2025 年 10 月 25 日（土）10：00～16：00

■参加方法：①兵庫県立のじぎく会館（定員 300 人）

②オンライン配信（定員 500 人）

※オンライン配信は開会行事及び記念講演、第 1 分科会のための配信です。

■記念講演（10：20～11：50）

「多民族共生社会に向けて一聞いて知って乗り越えるマイクロアグレッション」

北原モコットウナシさん（北海道大学アイヌ・先住民研究センター教授）

■分科会・学習会（13：00～16：00）

第 1 分科会：部落問題

第 2 分科会：人権教育

第 3 分科会：人権啓発

学習会：性暴力、性被害、性犯罪は同じなの？違うの？

■参加費：4,000 円／学生・障害者 2,000 円（討議資料・報告書を含む）

※弁当代は含まれません。

■弁当代：1,200 円 ※ご入用の方は参加申込書にご記入ください。

■申込方法：右記 QR コードからお申し込みください。

■主催：人権啓発研究第 45 回兵庫県集会実行委員会

■後援：兵庫県／兵庫県教育委員会／公益財団法人兵庫県人権啓発協会
／兵庫県人権教育研究協議会

■お問合せ：（事務局）ひょうご部落解放・人権研究所

TEL：078-252-8280 mail：blrhyg@extra.ocn.ne.jp

■申込締切：2025 年 10 月 20 日（月）



事務局から plus

- いよいよ 8 月、人権教育実践講座・ひょうご人権総合講座の 2 講座を開講します。現役バリバリの講師陣からホヤホヤの最新情報をゲットし、メラメラと研究心をかきたてられる熱い夏となりますように。（N）
- 暑い夏、田の稲も畑の野菜もバテバテです。元気なのは、草ばかり。水田の水の管理と伸び伸びと育っている草との闘いに悪戦苦闘しています。（Ho）
- 自宅のエアコンを買い換えるとき、店員さんに色々尋ねました。細かいことをききすぎたのか、店員さんがしどろもどろになり、気の毒なことを

しました。微妙な機能が多すぎです……。 （ka）

- 先日、数年ぶりに再開された「相模原津久井やまゆり園事件」神戸追悼アクションに参加しました。車いすユーザーの友人の言葉「最近、車いすで外に出るのが怖くなった」に、参院選期間中にばらまかれた外国人、障害者などへの差別に、あらためて怒りがわきました。（H）
- 事務局長からいただいたカブトムシの幼虫が無事に成虫になりました。6 歳と 2 歳の娘ちゃんたちは「カブちゃん♡」と呼び、毎日手に乗せてかわいがっています。小さい飼育ケースの中でかわいそうですが、命尽きるまでお世話すると約束しました。（ひ）

